

2002年新卒業生紹介演奏会

前回の美術学部卒業制作展に引き続き今回は音楽学部卒業生による演奏会紹介を紹介する。
学生生活の成果を披露した、実り多き一夜。



晴れ舞台である本番の演奏風景。ここからアーティストとしての新しい旅立ちが始まる



リハーサルの光景。それぞれに得意の曲目を選んで、練習にも力が入る

自由を表現することへの挑戦

真部裕



「芸大 定期オーケストラ」の一環として催される



左から大曾根浩範（作曲）、小池郁江（フルート）、中島彩（ピアノ）、真部裕（ヴァイオリン）、大隈智佳子（ソプラノ）

私は芸高から芸大へ進み、貴重な青春のほとんどをこの上野公園の奥地で謳歌してきたわけだが、ともあれ七年前に得たさまざまな得がたい経験として私のなかに根づいている。

一九九五年、春、北の大地からバイオリン一丁ひっつけて意気揚々と上京してきた私を待っていたのは、猛暑と才能あふれる同輩、先輩方であつた。その二つに著しく衝撃を覚えた私は、それらに負けない力をつけるべくわれわれの実技のなかでも、最も重要な位置を占める即興演奏の修業に明け暮れた。そして同じ志を持つ数人の仲間とともに、「最高の野暮ったさを追求する」「スネーク」という新ジャンルを創設したのである。

なぜスネークという名前が付いたのかは知らないたぶんだれも知らない。きつとだれかを連想したんだらうね。何はともあれ、それが私の音楽の基盤となつたわけである。ちなみに、猛暑とは全然関係ないことにいま気づいたが、ご容赦いただきたい。

いつしか月日は進み、スネークで培つた即興演奏の技に加え、ポップス、ジャズなどあらゆるジャンルに挑み続けた私も、気づけば大学生になつていて、入試が苦手なクラシックだつたことで、即興演奏を差し挟むことを忘れてしまい、私の実力を一パーセント発揮できずに終わって悔やまれる部分ではあるが、まあ、なんとかこなさを得て、さらなる研鑽を積むべく大学へと乗り込んだ。

大学のカリキュラムにおいては、音楽において最も重要なアドリブ、即興演奏などの授業がなかったのは残念だが、これはおそらく大事なことは自分で学べ、という自立心を養うべき措置だつたのである。それでも、私の場合は恩師である教授がバロック音楽などでの即興演奏などを得

意としており、それらを教わることができた私は非常に幸運であつたといえよう。私にとってその教授は最高の師匠であつた。彼の指導による、権威ある国際コンクールでの即興演奏の披露などはいまでも最高の思い出として心に残っている。大学にもすっかり馴染んだ私は、その後も我が道を邁進するべく研鑽と活動を続け、アフロヘアでの実技試験、温かい先輩方からの要請によるモヒカンでのコンサートマスター等の怪挙を次々と成し遂げた。充実した学生生活だつたと今でも胸を張って言える。たぶん。

季節は移り、そんな私が恩師に多大な迷惑をかけたつもろうじて卒業を迎えようとしている頃、新卒業生演奏会に出演が決まつたことを知り、私は耳を疑つた。私の音楽が異端であることは学校じゅうで知っていたし、芸大の卒業生を代表する立場に私が選ばれるとは夢にも思つていなかったのだ。だが、これはおそらく多くの皆さんが私のスタイル、つまるところ即興演奏を期待してくれているものと考えた。事実、とある芸大オーケストラの団員の方の「お前、まさか実力で選ばれたと思ってるんじゃないだらうな!？」と

いう有り難い言葉もいただき、私は最高の（即興）演奏をするべく決心を固めた。

いざ当日は、緊張で足が震えながらもステージに立ち、一音も弾いてないのになぜか「ブラボー!」と喝采をいただき、七年間の思い出詰まつた最高のステージを経験できた。今でも思い出すと胸が震える。私は七年間の集大成を披露する素晴らしい場をいただけて、本当に感謝の念はつきるところを知らない。

こつして晴れて芸大の門を後にした私だが、今後のことは、前人未踏の荒野を歩くようなもので何もわからないが、漠然とした夢はある。芸大にポップス科を作り、その教授になるのが私の人生の目標である。そして誇るべき先輩たちに私以上に充実した学生生活を送ってもらいたいものである。やはり、後輩たちにはもっと表現というものは自由なことであり、いろいろな音楽に興味をもってもらいたい。

たとえば私の弾くような下品なクラシック音楽というものもあるんだよ、みたいな……。
（まなべ・ゆつ／音楽学部器楽科11 二年卒業生）

芸大定期オーケストラ第298回 新卒業生紹介演奏会 2002年6月14日（金）18:30より 東京芸術大学音楽堂で開催された

「追分」 大曾根浩範作曲
作曲：大曾根浩範
指揮：小田野宏之

フルート協奏曲 J・イペール作曲
フルート：小池郁江
指揮：沼尻竜典

左手のための協奏曲（ピアノとオーケストラのための） M・ラヴェル作曲

ピアノ：中島彩
指揮：沼尻竜典

歌劇「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」 “かわいい坊や” G・ブッチー二作曲

ソプラノ：大隈智佳子
指揮：田中良和

ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47 J・シベリウス作曲

ヴァイオリン：真部裕
指揮：田中良和